

## シーカデュア®52

エポキシ系 ひびわれ注入用およびプライマー用接着剤

概要	シーカデュア®52は、コンクリート構造物のひび割れ補修に適した低粘度、2成分形タイプのエポキシ系注入接着剤です。流動性に優れており、小さなひびわれにも充てんが可能です。また高強度エポキシ樹脂モルタル「シーカデュア®41」用のプライマーとしても使用できます。
用途	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンクリート構造物のひびわれ補修</li><li>・モルタルやタイルの浮き補修</li><li>・コンクリート、モルタル、石材、スチール、木材などの接着</li><li>・アンカーボルトの固定</li><li>・エポキシ系補修モルタル「シーカデュア®41」などのプライマー</li></ul>
特長	<ul style="list-style-type: none"><li>・流動性に優れているため、小さなひびわれにも充てん可能です。</li><li>・溶剤などの揮発成分を含まないため、収縮がほとんどありません。</li><li>・機械的強度が優れています。</li><li>・耐久性や耐水性に優れています。</li><li>・湿潤面にも使用可能です。</li></ul>

### 製品規格値

試験項目	試験方法	条件	規格値	
			標準形	遅延形
密度	JIS K 6833	20	A	1.13 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>
			B	1.00 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>
			A + B	1.08 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>
粘度	JIS K 6833	20	A	2,250 ± 750 mPa·s
			B	40 ± 20 mPa·s
			A + B	400 ± 100 mPa·s
可使時間	温度上昇法	20 ・150cc	25 ± 10分	60 ± 10分
圧縮強さ	JIS K 7208	20 ・7日	45N/mm <sup>2</sup> 以上	45N/mm <sup>2</sup> 以上
硬 度	JIS K 7215	20 ・7日	80HDD以上	80HDD以上



## 技術資料

主成分	A成分(主剤) : エポキシ樹脂 B成分(硬化剤) : 変性脂肪族ポリアミン		
外観	A成分(主剤) : 淡黄色透明液体 B成分(硬化剤) : 褐色透明液体 A+B混合物 : 淡褐色液体		
混合比	A成分 : B成分 = 2 : 1(重量比)		
施工温度	標準形	5 ~ 30	
	遅延形	20 ~ 40	
可使時間	温度上昇法	標準形	遅延形
		30	12分
		20	30分
		10	60分
		5	100分
保存期間	未開封で12カ月		
荷姿	6kg/箱(3kgセット×2)	A成分(主剤) : 2kg/缶 B成分(硬化剤) : 1kg/缶	
標準使用量	6kg/箱あたり : 約5.5リットル(注入用途) 6kg/箱あたり : 約20m <sup>2</sup> (プライマー用途、塗り厚0.27mm、0.3kg/m <sup>2</sup> )		
性状・性能	条件	標準形	遅延形
密度( g/cm <sup>3</sup> ) 混合物	20	1.08 ± 0.05	1.08 ± 0.05
圧縮強さ( N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 7208	20 ・ 1日 3日 7日	35 45 51	30 40 51
圧縮弾性係数( N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 7208	20 ・ 7日	1 × 10 <sup>3</sup> 以上	1 × 10 <sup>3</sup> 以上
引張強さ( N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 7113	20 ・ 7日	15以上	15以上
引張せん断強さ( N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 6850	20 ・ 7日	10以上	10以上
曲げ強さ( N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 7203	20 ・ 7日	30以上	30以上
接着強さ( N/mm <sup>2</sup> ) 建研式引張試験	20 ・ 7日	2.0以上 (コンクリート破断)	2.0以上 (コンクリート破断)
熱膨張係数 JIS K 6911	20 ~ 60	8 × 10 <sup>-5</sup>	8 × 10 <sup>-5</sup>

## 施工方法

### ひびわれ注入材として使用する場合

下地処理	・シール材(シーカデュア®31)を塗布する面にレイタンス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、ディスクサンダー、サンドブラストなどを使用し、除去して下さい。
混合	・A成分の中にB成分を全量入れ、ハンドミキサー( max500rpm程度の低速タイプ)を使用し、空気が混入しないように均一なグレー色になるまで3分以上混合して下さい。 ・使用量が比較的少ない場合は、まず混合前にそれぞれの缶の中をよくかき混ぜて下さい。次に、A成分、B成分を2:1(重量比)の比率で計量した後、十分に混合して下さい。 ・大量に混合する場合は、化学反応により材料の温度が上昇し、可使時間が短くなることがあります。一度に混合する量は、可使時間内に使いきれぬ量にして下さい。
注入器台座の固定	・台座の注入孔がひびわれの真上になるようにセットし、まわりをシーカデュア®31で固定して下さい。間隔は、20～30cm程度です。(ひびわれ幅に応じて間隔を決定して下さい。)
ひびわれ注入	・台座が固定されたことを確認後、注入材を充てんした注入器を台座にセットし、低圧でひびわれ箇所(ひびわれ)にシーカデュア®52を注入して下さい。注入器内部の材料がなくなった場合には、すみやかに注入材を入れた注入器と交換し、作業を続けて下さい。
注入器の撤去	・注入器内部の注入材が硬化していることを確認後、注入器、台座、シール材を撤去して下さい。
養生	・施工後24時間以上の養生が必要です。養生期間中は衝撃や振動を与えないように注意して下さい。なお養生温度が低い場合(5℃程度)には、3日間程度の養生日数を確保して下さい。
洗浄	・施工後、使用した工具は、硬化する前にラッカーシンナーで洗浄して下さい。(洗浄中、溶剤の蒸気を吸引しないように注意して下さい。)
重要事項	・高温時は、可使時間が短くなります。夏期に施工する場合は、材料温度が上昇しないように、濡れたウエスで注入器を覆うなどの処置を行って下さい。40℃以上で施工する時は、当社にご相談下さい。 ・低温時は、材料の粘度が上昇し作業性が低下するとともに、硬化が遅れます。原則として5℃以上の環境で使用して下さい。なお冬期の場合、材料温度が20～30℃になるように保温処置を行うことで作業性は向上します。

### プライマーとして使用する場合

下地処理	・施工面に汚れ、レイタンス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、ディスクサンダー、サンドブラストなどを使用し、除去して下さい。
混合	・A成分の中にB成分を全量入れ、ハンドミキサー( max500rpm程度の低速タイプ)を使用し、空気が混入しないように均一なグレー色になるまで3分以上混合して下さい。 ・使用量が比較的少ない場合は、まず混合前にそれぞれの缶の中をよくかき混ぜて下さい。次に、A成分、B成分を2:1(重量比)の比率で計量した後、十分に混合して下さい。 ・大量に混合する場合は、化学反応により材料の温度が上昇し、可使時間が短くなることがあります。一度に混合する量は、可使時間内に使いきれぬ量にして下さい。
プライマー塗布	・ハケ、ローラーなどを使用して均一に塗布して下さい。 標準塗布量は0.3kg/m <sup>2</sup> 程度です。 ・プライマーが硬化する前に上塗りの材料を施工して下さい。 養生、洗浄、重要事項は上記を参照して下さい。

## 注意

## 取扱い

A成分：刺激性の成分としてエポキシ樹脂を含み、長時間あるいは繰返しの接触により皮膚刺激を起こすことがあります。また、目を刺激することがあります。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。皮膚との接触を避け、適当な換気条件の元で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。

B成分：刺激性の成分としてアミンを含んでいます。目あるいは皮膚を刺激します。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。適当な換気条件の元で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。B成分の付着した衣類は着替えて下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。

詳しい安全性は製品安全データシートを参照して下さい。

## 救急法

皮膚に付着した場合はすぐに拭取り、石鹸を使用し、水で十分に洗って下さい。痛みや外観に変化がある場合には、速やかに医師の診断を受けて下さい。目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、必要に応じて医師の処置を受けて下さい。蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

## 保管

A成分：火気、湿気、水を避け、室内の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。

B成分：A成分と同様に保管して下さい。保管中に多少の分離を生じる事がありますが、その場合には使用前によく攪拌して使用して下さい。

## 廃棄

使用後の材料・容器は、A成分とB成分を混合し硬化を確認した後、法規に従って廃棄して下さい。

消防法による  
危険物分類

第4類 第3石油類 火気厳禁 危険等級

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、接着面および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクト・データ・シートの最新版に留意してください。プロダクト・データ・シートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。



日本シーカ株式会社  
第1事業本部 リペア&プロテクション チーム  
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬1-1  
TEL 0463-23-1301 FAX 0463-21-1316  
<http://www.sika-japan.co.jp/>



日本シーカ株式会社は平塚・小野工場において1993年にISO9001、1998年にISO14001の認証を取得いたしました。